

Biz [ビズスタ] Life Style



伝説を語り続ける、カルティエウオッチ。

Pasha de Cartier 新たな道を進む自由なクリエイティビティ



Maud Remy-Lonvis © Cartier

同じくルイの画期的な創造力を、今もなお鮮やかに映し出す時計がこの「タンク」である。「タンク」が登場したのは、第二次大戦の最中、戦車部隊の乗組員が腕時計を失ったため、腕時計のデザインを考案したルイ・カルティエのアイデアがきっかけとなった。当時の主流であった機中時計のラウンド型から、二本の縦線の直線を基調とする角型のシェイプを生み出した。時代の息吹を腕時計というクリエイションに落とし込んだこの「タンク」は、まさに先見の明を持つルイ・カルティエの手腕があらわに生み出されたものといえるだろう。

その「タンク」は1922年、新たなモデルが加わった。ここに紹介するのは、1922年にデザインを刷新した「タンク ルイ カルティエ」(Cal.1917 MC)の「レイン」バージョン。この「レイン」は、当時の主流であった機中時計のラウンド型から、二本の縦線の直線を基調とする角型のシェイプを生み出した。時代の息吹を腕時計というクリエイションに落とし込んだこの「タンク」は、まさに先見の明を持つルイ・カルティエの手腕があらわに生み出されたものといえるだろう。

自由なエスプリを宿した多彩なラインナップ

そして昨年の刷新以降、話題を提供し続ける時計が「パシャ」だ。1985年に誕生した「パシャ」は、カルティエの自由なエスプリを描くクリエイション。オーストリアの高官の称号である「パシャ」の名を持つ時計は、1943年にマラケシュのパシャ大公であったルイ・ジャウイ公からの依頼で誕生した。水辺で使用する時計を望む大公のオーダーから、カルティエは「パシャ」の原型となるラウンドウォッチを考案。それを原型に、1985年に新たなウォッチコレクションとして確立される。特徴的なねじ込み式のリュウズとリュウズカバー「アラビヤ」数字を用いたクロノグラフのほか、ムーブメントを眺めることのできるスケルトンモデルなど、ラインナップはさらに充実。かつて昨年、シテンタレウォッチとして話題を呼んだ直径35ミリのサイズに加えて、今年はいりかたな直径30ミリも登場した。自分で簡単にストロップが交換できるインタチエシヤブル仕様の腕時計も登場。また、ユニークなデザインにふさわしいスポーツウォッチとしての堅実なアプローチも目撃された。



パシャドウ カルティエ CRWGA0017
41mm 自動巻き (Cal.1904-CH MC)
イエローゴールド
アリゲーターストラップ2本
2,877,600円(税込)
© Cartier



パシャドウ カルティエ CRWJA0017
30mm クォーツ
ピンクゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ2本
2,244,000円(税込)
© Cartier



パシャドウ カルティエ CRWHPA0007
41mm
自動巻き (Cal.9624 MC)
ステンレススティールプレスレット
ステンレススティールストラップ2本
3,273,600円(税込)
© Cartier

Tank 誕生から100年たった今も進化を続ける腕時計



Laziz Hamani © Cartier

歴史的な伝統と現代の革新が生む洗練のスタイル

時計と宝飾において、活躍してきた稀有なメン

カルティエのクリエイションを語るうえで、常に欠かせないものがある。それは、「スタイル」という言葉だ。芸術において時代ごとの作風や様式を指し示すこの言葉を、メソンの歴史の作品にこそ、培ってきた独自の美意識を自らの財産としてきた。時代を見据える革新的な発想を伝統の中へと織り交ぜることで、カルティエは既に完成されたスタイルを、未来に向けた新たなクリエイションとして表現し続けてきたのである。

カルティエの根幹を築き上げた人物とされるのが、メソンの3代目当主となるルイ・カルティエだ。創業者の孫であるルイ・ビエール、ジャックの3兄弟が活躍した20世紀初頭にメソンは飛躍的な発展を遂げるようになる。それは文化が美り、繁栄したヘルエボックの時代から第一次世界大戦へと



Maud Remy-Lonvis © Cartier

移り変わる時代のこと。カルティエはロシアやイギリス、インドなど世界中の王侯貴族たちを顧客に迎え、稀少なハイジュエリーの数々を生み出していた。かつて、長男のルイは、メソンで初めての腕時計を生み出した。1904年に友人である飛行家アルベルト・サントス・デ・メソンの依頼で、ケースとストラップを一体化した腕時計を考案。20世紀のバリの空を駆け巡ったラジール人飛行家の時計は、今でもメソンの代表的なクリエイション「タンク」として受け継がれている。21世紀の現代、時計と宝飾の両輪において活躍し続けるメソンの姿は、この草創期の時代に既に確立されていた。



Maud Remy-Lonvis © Cartier



タンク ルイ カルティエ CRWGTA0059
LM (33.7x25.5mm)
手巻き (Cal.1917 MC)
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,636,800円(税込)
© Cartier

タンク ルイ カルティエ CRWGTA0058
LM (33.7x25.5mm)
手巻き (Cal.1917 MC)
ピンクゴールド
アリゲーターストラップ
1,636,800円(税込)
© Cartier

タンク マスト CRW4TA0016
SM (29.5x22mm)
長寿命クォーツ(約8年)
ステンレススティール、ダイヤモンド
カーフェザーストラップ
748,000円(税込)
© Cartier

タンク アメリカン CRWGTAA0040
MM (41.6x22.6mm)
自動巻き
イエローゴールド
アリゲーターストラップ
1,702,800円(税込)
© Cartier

Panthere
多彩な魅力を見せる永遠の“パンテール”



Nils Hermann © Cartier

カルティエのジュエリー&ウォッチにおいて、圧倒的な存在感で世界中の女性たちを魅了してきたモチーフが、「パンテール」である。エキゾチックな趣を見せるしなやかな豹の姿は、実に様々なデザインの中に描かれてきた。

最初に「パンテール」が登場したのは1914年のこと。当時カルティエのデザイナーであったシャルルジャコブが手掛けた、ブラックオニキスとダイヤモンドを施したプレスレットウォッチである。白と黒のパンテールパターンを用いたグラフィカルな美しさは、その後のメソンのクリエイションに多大な影響を与えることとなる。殊に「パンテール」の創造力を開花させた女性が、1933年からジュエリーのアーティスティックディレクターを務めたジャンヌトウサンだ。自らも「パンテール」と呼ばれ、このモチーフをこよなく愛した人である。トウサンが最初に手掛けた「パンテール」のジュエリーが、1949年にウィンザー侯爵夫人のために製作したフローチーフファイアカポシジョンの上に優雅に佇むパンテールの姿は今見ても必見の美しさであり、その後「パンテール」はトウサンの手により、実にいきいきとした表情を見せるようになる。

様々なジュエリーを飾ってきた「フィギュラティブ」な「パンテール」の美は、もちろん、時計においても健在だ。写真の時計はパンテールがケースを啜える、実に愛らしいデザイン。エメラルドのようなグリーンの色彩を目に施し、ブラックラッカーでスポーツパターンをあしらった。このモデルの見どころ



© Cartier

ラ パンテール
CRWHPI01379
クォーツ
SM(23.6mm)
ピンクゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,511,200円(税込)



© Cartier

ラ パンテール
CRWHPI01297
クォーツ
SM(23.6mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,511,200円(税込)



© Cartier

パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0032
クォーツ
ミニ(25x21mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
アリゲーターストラップ
3,379,200円(税込予価)
日本限定

は、見事な立体感。正面から、そして横から。見る角度によつて表情が変わる造詣の深さそのものをも楽しみたい。

そして同じく「パンテール」の名と共に愛されてきたのが、艶めきのゴールドモデルだ。前者とは異なり、パンテールのイメージを抽象化した時計は、ゴールドプレスレットを主役とする。肌に吸い付くように滑らかなプレスレットは、まさに豹の肢体を思わせるしなやかさ。ゴールドの重厚感を活かしつつも、着けたときに重さを感じさせず、かつ腕に馴染むような配置も入念に計算されている。プレスレットの裏側にまでポリッシュがかけられ、どこからみても豹の毛並みのような艶やかさを生み出した。こうした細部への作り込みは、まさにハイジュエリーのテクニクによるもの。これら二つのスタイルと共に、時を紡ぐジュエリーとも呼ぶたい、「パンテール」の魅力に触れてみてはいかがだろうか。

掲載した商品の価格は令和3年11月24日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

Biz Life Style Pick up >>>

時代を超えて愛されるカルティエ ウォッチが集結、年に一度のクリスマスウォッチコレクションフェア。



アイアイイズ 本店
高松市多肥下町1523-1 TEL.087-864-5225
営業時間/11:00~19:30

『アイアイイズ』は、香川県内で唯一となるカルティエウォッチ正規販売店。約120に及ぶブランドの製品が揃う国内最大級の時計専門店として知られ、四国はもちろん関西や中国地方からも多数の来店客を迎える名店だ。カルティエ最新のコンセプトを展開する専用コーナーは上質感に満ち、落ち着いた空間の中でゆつくりと手に取れる。

クリスマスシーズンの恒例となっているカルティエウォッチコレクションフェアは12月18日(土)から26日(日)まで、例年以上の規模で行われる予定。今年本店内に隣接する『アイアイイズeast』が会場となるので、来店時には事前予約がおすすめです。詳細は下記まで。



取り扱いブランド

カルティエ、ハリーウィンストン、シャネル、ブルガリ、ラング&ゾーネ、オーデマピゲ、ヴァシュロン・コンスタンタン、ウブロ、パネライ、IWC、ジャガールクルト ほか

<https://www.eye-eye-isuzu.co.jp>

カルティエ カスタマー サービスセンター
フリーダイヤル 0120-301-757
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp